

平成30年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：生産振興課

担当名：花き・果樹・特産・水産担当

内線：4151

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B36	水産研究所試験研究費		一般会計	農林水産業費	畜糸特産及び水産業	水産研究費	水産研究所費	
事業期間	平成12年度～	根拠法令	内水面振興法第十一条～第十四条			宣言項目	09	儲かる農業の推進
					分野施策	040937	強みを生かした収益力ある農業の確立	
1 事業の概要 観賞魚の品質向上や食用魚の安定生産及び魚影豊かな川を創出するための試験研究を実施する。 (2) 地域に根ざした生産技術の研究・指導の推進 研究課題がなくなったことに伴う減 △400千円 (3) 調査研究 助成金減額に伴う減 △570千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 県オリジナル品種（埼玉ブランド）となる新品種の育成・普及 2,308千円 イ 地域に根ざした生産技術の研究・指導の推進 7,366千円 ウ 調査研究 1,533千円 (2) 事業計画（目標、達成水準、今後の計画等） ア 県オリジナル品種（埼玉ブランド）となる新品種の育成・普及 1課題（うち新規 0） イ 地域に根ざした生産技術の研究・指導の推進 6課題（うち新規 1） ウ 調査研究 3課題（うち新規 0） (3) 事業効果 新品種、開発された新技術が普及されることにより、本県水産業の発展を支える。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 独立行政法人（水産総合研究センター等）、都道府県、大学、民間企業や養殖業者と共同して国庫資金等を活用して研究開発を実施する。また、水産業関係団体民間企業から委託を受け、問題解決のための試験研究を行う。 (5) 補正予算の概要 受託を予定していた試験研究課題がなくなったこと及び助成金減に伴う減額					
2 事業主体及び負担区分 (1) (県10/10) (2) (県10/10)、(国研10/10・県0) (3) (国1/2・県1/2)、(団体10/10・県0)								
3 地方財政措置の状況 なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 人件費 9,500千円×12人=114,000千円								
予算額		財源内訳					一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金	財産収入	諸収入				
決定額	△970			△970			0	11,207
現計額	12,177	200	5,500	2,432			4,045	